



なじょしたあ

米沢市社会福祉協議会
生活支援相談員
R5・7月号
Vol.130

わくわくのたねの会

置賜地域のみなさんと



ジェルキャンドルを作ろう

生活再建支援拠点「ここふく@やまがた」相談支援室
主催のサロンです！

今回は南陽、長井、米沢合同で行います☺
夏休みのため、お子さんの参加も大歓迎です。

日時：令和5年7月28日（金）13：30～15：30

会場：置賜総合文化センター 203 研修室
米沢市金池3丁目1番14号

参加料：無料

対象者：東日本大震災で置賜地域に避難している方

定員：先着35名程度

持ち物：ハサミ

申込方法：TEL または Eメール、FAX

申込締切：令和5年7月18日（火）

〈申込・問合わせ〉

生活再建支援拠点「ここふく@やまがた」
相談支援室

TEL：023-674-0606

FAX：023-674-0808

soudan@amill.org

米沢市社会福祉協議会

TEL：0238-24-7881

FAX：0238-24-7861

[honobono-](mailto:honobono-eshakyo@tiara.ocn.ne.jp)

eshakyo@tiara.ocn.ne.jp



“町のお地蔵さん”（健康一口メモ） 本当の強さとは

勤勉さは、日本人の美德の一つでしょう。目的意識に沿って身を粉にして尽力する生き方を貫いて、仕事を成し遂げたり、目的を実現したりする生き方は、強さの印象を与えます。ヨブ記という聖典がありますが、そこには善き人ヨブが登場します。信仰に厚く、正しく、実直に生き、社会的にも自己実現を遂げた人物として描かれています。そこで悪魔が神に「ヨブが善き人ヨブであるのは、神がヨブを試練から守っているからにすぎない」と言ったことから、神はヨブに試練を与えて、ヨブの正しさを悪魔に対して証明しようとする。ところが、ヨブは神に対して、恨み節を言い募ることになるのです。ヨブは神のしもべとして、正しく生きてきたのだから、試練に合うことはないという期待をもって生きてきたと思います。人間が生きる正しさが、まじめさが、実直さが、どこかでそれに対する見返りを期待しているところがある。「まじめに生きてきたのになぜこんな目に合わなければならないのか」という何度となく人類が反芻してきた思考にそれは表れています。ヨブは順境にあるときには強く、正しくみえます。それは期待イメージが裏切られない限りにおいて発揮される強さにすぎない。

一方、度重なる喪失体験、病気に見舞われて、それに付け加えて泣きっ面に蜂のようなことに見舞われているにもかかわらず、明るく生きている人がいます。なぜそんなに明るくいられるのかと問うたことがあるのですが、「私は、初めから何も期待していません」とおっしゃっていました。それは投げやりではない。期待イメージにしがみついていると、それに裏切られて身が持たないことからたどり着いた達観なのです。事に当たって、一切の期待イメージを持たず淡々とそれを受け止めて生きる。動揺もなく、恨みもなく、ただできることをする。この人がヨブなら神は満足したことでしょう。

Dr.小林 恒司

サロ

開催報告 令和5年6月27日開催

花の店艶の遠藤先生のご指導のもと好きな観葉植物を選び、寄せ植えを行いました！お昼は移動してゆず庵へ(^^♪

この指と〜まれっ！



観葉植物の寄せ植え体験交流会



簡単レシピ紹介コーナー

レモン酢鶏



材料 (4人分)

鶏むね肉	2枚(500g)
A 醤油・酒・胡麻油	各小さじ 1
塩	小さじ 1/3
胡椒	適量
卵	1/2 個
片栗粉	大さじ 4
パプリカ (赤・黄)	各 1/2 個
玉ねぎ	1/2 個
[あん]	
レモン汁・砂糖	各大さじ 3
醤油	大さじ 1
水	150ml
鶏がらスープの素	小さじ 1/2
片栗粉	適量
揚げ油	適量
レモン	1/2 個

今回は野の花交流会さんよりレシピを教えてくださいました！

暑くて食欲のない時にレモンでさっぱり元気の出るメニューはいかがでしょうか(*'▽')



作り方

- 1 鶏肉は、一口大に切り A で下味をつけ、片栗粉をよくもみ込む。パプリカは乱切りにする。玉ねぎは 2 cm 角に切る。レモンはくし切りにする。
- 2 フライパンに 2 cm ほどの油を入れ、170℃に熱する。鶏肉を入れて 3 分揚げ、高温にしてさらに 1 分揚げ、とり出す。
- 3 フライパンの油を除いて、野菜をさっと炒め、あんの材料を加え、煮立たせたら 2 を加えて煮からめる。
- 4 器に盛り、レモンを飾る。

《お問い合わせ先》

米沢市西大通 1 丁目 5-60

米沢市すこやかセンター内 米沢市社会福祉協議会

TEL 0238-24-7881 携帯 080-5228-5430 (生活支援相談員:井上・斎藤)

FAX 0238-24-7861 e-mail honobono-eshakyo@tiara.ocn.ne.jp

電話・窓口は平日 8:30~17:15 まで



社協 HP